

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当ありません。

2. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりです。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額による。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していません。)

その他の有価証券(時価のあるもの)・・・決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式で行っております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	51,400,000	500,000	1,400,000	50,500,000
有価証券	448,592,000	3,459,108,000	198,600,000	3,709,100,000
合計(基本財産)	499,992,000	3,459,608,000	200,000,000	3,759,600,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
定期預金	50,500,000	500,000	50,000,000	
有価証券	3,709,100,000	3,709,100,000		
合計(基本財産)	3,759,600,000	3,709,600,000	50,000,000	0

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位:円)

内訳	帳簿価額	時価(24.3.30現在)	評価損益
欧州投資銀行債(20年)	100,000,000	88,000,000	-12,000,000
ノムラヨーロッパ債(30年)	100,000,000	46,840,000	-53,160,000
シルフリミテッド債(10年)	99,500,000	90,650,000	-8,850,000
シルフリミテッド債(10年)	100,000,000	97,860,000	-2,140,000
合計	399,500,000	323,350,000	-76,150,000